締め切り
12月11日

条幅研究【かな部】選評：内藤詩羊

※出品資格が変わりました。
また、半切の横が可能になりました。ご活用ください。

先月、秋の水明セミナーを担当させていただきました。和気藹々とした雰囲気の中、情報交換をしながら共に学びました。受講者の中には師範試験にチャレンジされる方がおられ、試験対策にも熱心に取り組んでおられました。より深く学ぶ機会になると思いますので、高士以上の方は今から準備を始めて、来年の試験に挑戦されてはいかがでしょうか。

かな部　次号課題

A　いつとなく硯に向かふ手習よ

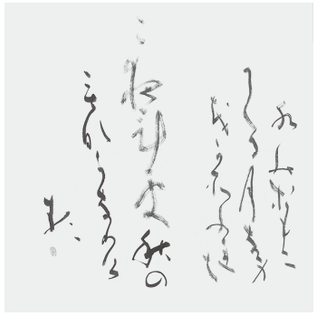
・いつのまにか硯に向かって心の端を書きつけてみるわたしの手習いよ。人にはうちあけられないこの恋心なので。（徽安門院）

B　たくほどは風がくれたる落葉かな

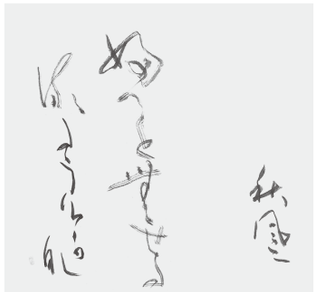
・風が運んで来てくれた落葉を焚いて、冬の朝の一時を楽しんでいる句。好天にくつろぐ作者の心情がうかがわれる。（小林一茶）

〈師範・準師範の部〉

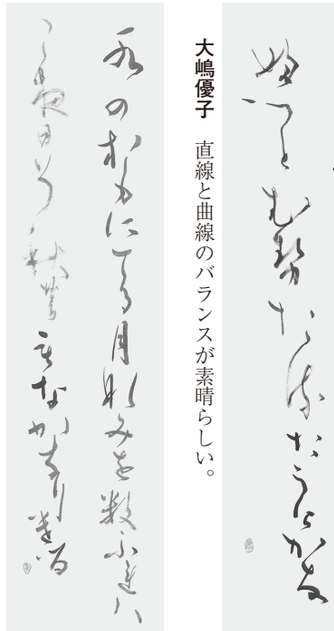
優秀作品



能勢玄海　窮屈さを感じさせず、大胆な見せ場を構成、見事。

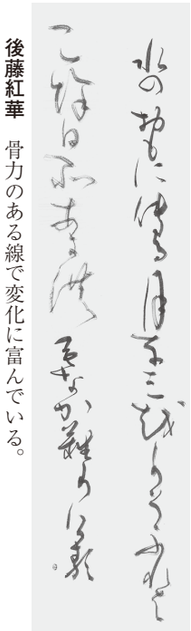


久米娃田　余白を活かし、良質な渇筆が際立っている。

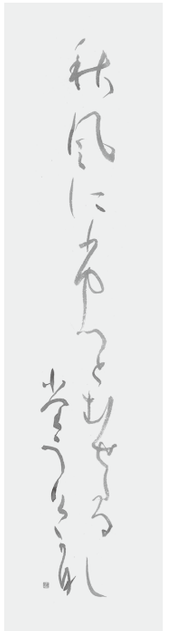


大嶋優子　直線と曲線のバランスが素晴らしい。

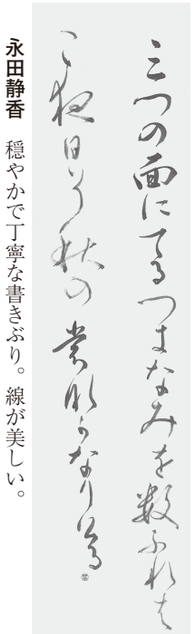
田中佐代子　流れ、字形ともに穏やかな作風で良い。



後藤紅華　骨力のある線で変化に富んでいる。



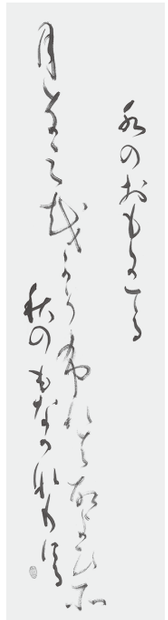
森川珠房　流麗で品格のある作。



永田静香　穏やかで丁寧な書きぶり。線が美しい。

●出品資格：**一般初段以上**および**高校生**。●用紙サイズは**半切縦**か**横、角半**のいずれか。
●A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
●条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。（作品の裏右下には鉛筆で段位と氏名も忘れず記入）

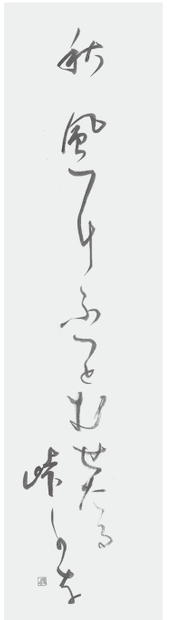
〈修士以下の部〉



田麥知風　広く余白を取り、三行を上手く収めている。



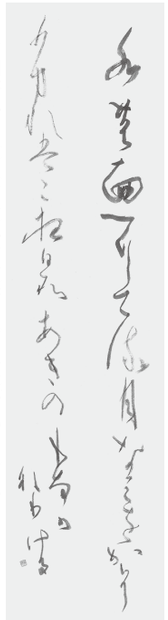
西山志保　単体で書かれているが筆脈があり佳。



北村映月　伸びやかでまとまり良し。



武内昇月　淡墨でふくよかな線。温かみを感じる作。



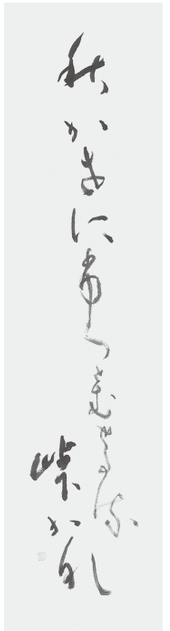
山岡好子　太線、大小、疎密など工夫が見られる。



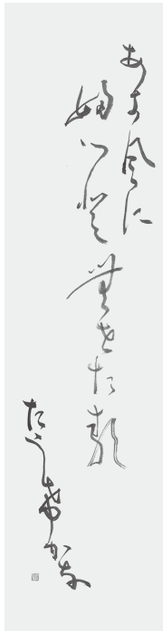
西村希美　中央部分の迫力に魅了された。



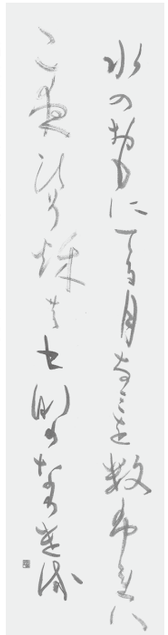
海野雨泉　力強い線で書き進め、堂々。



川嶋冷子　潤渇美しく、雅味あり。



冨尾秀玉　線が冴え、筆運びが軽快である。



橘佳緒里　素朴で趣きのある作。